

## 2024年2月実施 博士前期課程

# 「学内選考」方式による入学試験

## 明治大学大学院 文系研究科

### 法学研究科

出願要件：GPA基準あり★  
対象学部：全学部  
選考方法：面接試験  
入学試験日：2024年2月24日  
お問合せ：大学院事務室  
03-3296-4145

law\_grad@mics.meiji.ac.jp

★一部GPA基準を設けない選考区分もあります。

### 政治経済学研究科

出願要件：GPA基準あり  
対象学部：全学部  
選考方法：面接試験  
入学試験日：2024年2月22日  
お問合せ：大学院事務室  
03-3296-4150

seikeiken@mics.meiji.ac.jp

### 情報コミュニケーション研究科

出願要件：GPA基準あり  
対象学部：全学部  
選考方法：面接試験  
入学試験日：2024年2月19日  
お問合せ：大学院事務室  
03-3296-4285

jokomiken@mics.meiji.ac.jp

※文学研究科は7月にのみ  
「学内選考」入試を行います。

進学相談・入学試験の詳細は各研究科へお問い合わせください。

### 商学研究科

出願要件：GPA基準あり  
対象学部：全学部  
選考方法：面接試験  
入学試験日：2024年2月27日  
お問合せ：大学院事務室  
03-3296-4704

shoken@mics.meiji.ac.jp

### 経営学研究科

出願要件：GPA基準あり  
対象学部：全学部  
選考方法：面接試験  
入学試験日：2024年2月21日  
お問合せ：大学院事務室  
03-3296-4705

keiei\_grad@mics.meiji.ac.jp

### 教養デザイン研究科

出願要件：GPA基準あり  
対象学部：全学部  
選考方法：面接試験  
入学試験日：2024年2月27日  
お問合せ：大学院事務室(和泉)  
03-5300-1529

humanity@mics.meiji.ac.jp

### 国際日本学研究科

出願要件：GPA基準あり  
対象学部：全学部  
選考方法：面接試験  
入学試験日：2024年2月21日  
お問合せ：中野教務事務室  
03-5343-8039

ggjs@mics.meiji.ac.jp

### 出願期間

法学研究科、商学研究科、経営学研究科、 情報コミュニケーション研究科、国際日本学研究科	2023年11月26日(日)～12月1日(金)
政治経済学研究科	2024年1月9日(火)～1月11日(木)
教養デザイン研究科	2024年1月9日(火)～1月12日(金)

### 学内選考入試とは

- ・明治大学生のみを対象とした制度です。
- ・現在の学部とは異なる分野の研究科にも出願できます。
- ・研究科により、学内選考入試出願前に希望指導教員の承認が必要になります。
- ・主に面接試験により選考を行います。

※出願要件を満たさない方は、一般入学試験・外国人留学生入学試験もご検討ください。



明治大学大学院の魅力をもとめた特設サイトを公開中です。在学生・修了生・教員のインタビューも掲載していますので、是非ご覧ください。

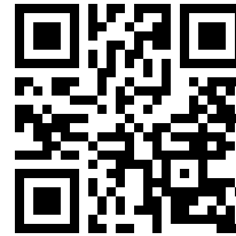
## 充実した少人数教育

きめ細かい教育研究指導・教育体制を通じて、研究者と高度専門職業人の双方を育成しています。

＜博士前期課程・修士課程＞  
大学院担当専任教員1人あたりの学生数

文系研究科平均<sup>\*1</sup> 約 **1.3** 人

理系研究科平均<sup>\*2</sup> 約 **4.1** 人



\*1 法学研究科、商学研究科、政治経済学研究科、経営学研究科、文学研究科、情報コミュニケーション研究科、教養デザイン研究科、国際日本学研究科の平均（2022年5月1日現在）

\*2 理工学研究科、農学研究科、先端数理科学研究科の平均（2022年5月1日現在）

## 大学院で獲得することのできる能力

課題・情報などを分析する力 **94.1%**

情報を収集する力 **94.1%**

課題を設定する力 **92.7%**

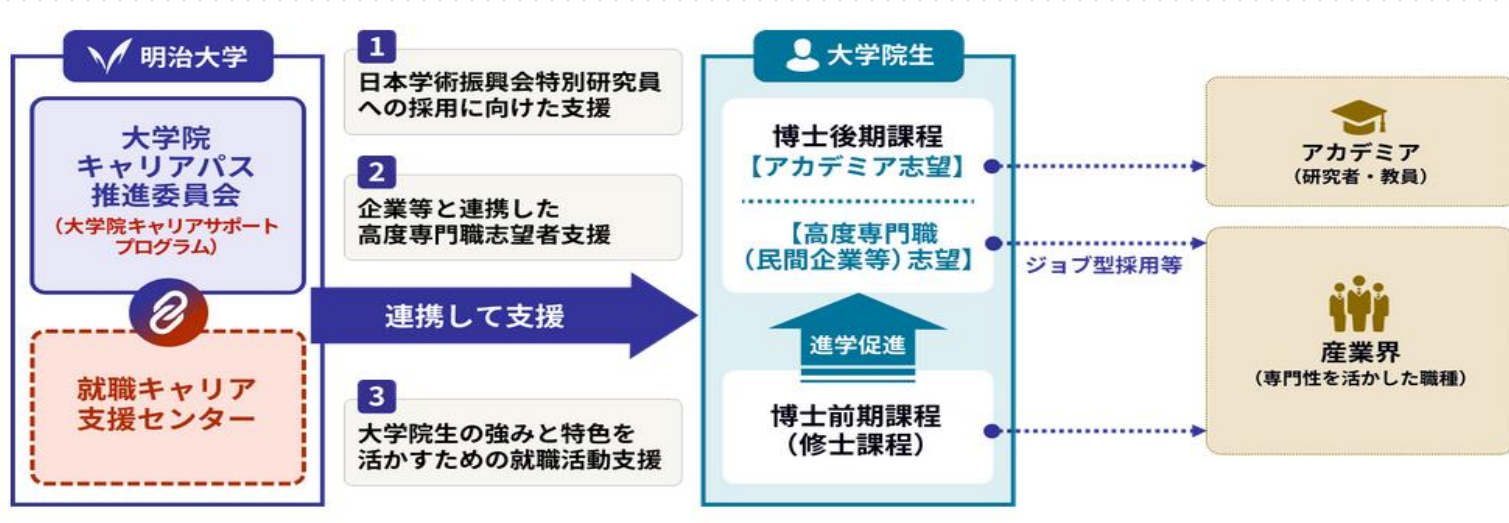
論理的に思考する力 **92.4%**

プレゼンテーションする力 **86.7%**

専門的な研究技能 **85.8%**

\*明治大学が在学生に実施した「2021年度大学における学びに関するアンケート」の各設問において、「大きく向上した」または「少し向上した」と回答した大学院生の比率。

## 大学院生に特化したキャリアサポートプログラム



「アカデミア志望者への支援」「民間企業における就職活動への支援」の双方を行い、大学院生に必要な支援に重点を置き実施しています。



## 豊富な独自奨学金・充実の研究助成

明治大学独自の奨学金採用者数<sup>\*1</sup>（受給率<sup>\*2</sup>）

博士前期課程/修士課程

**495**名（約 **33%**）

博士後期課程

**149**名（約 **83%**）



\*1 2021年度実績。大学院研究奨励奨学金A・B、特定研究者育成奨学金、私費外国人留学生奨学金、私費外国人留学生授業料補助の受給者数計。

\*2 2021年度5月1日時点で、標準修業年限内にある学生のうち、明治大学独自の奨学金受給者が占める比率。

大学院生が研究活動に存分に打ち込むことができるよう、後押ししています。



## 在学生インタビュー

中村 姫奈子さん  
国際日本学研究科 博士前期課程 1年  
北海道教育大学 教育学部 卒業



—大学院に進学したきっかけや理由を教えてください。また、大学院進学にあたり、明治大学大学院を選んだ理由を教えてください。

私が大学院に進学した理由は二つあります。第一に、子供たちが英語を楽しみながらハッピーに学習できるような授業を作るためです。また、第二に、学校現場で日々、生徒のために奮闘している先生方に対して今まで以上に楽しくてハッピーな授業づくりを提案したいと強く思ったからです。そしてこの目標を達成するために、英語学習者の動機づけについて研究している廣森先生のいらっしゃる本大学を選択しました。進学を後押ししたのは、廣森先生とお話したときの、「この先生のゼミに入るといろいろな人と交流し、切磋琢磨しながら、楽しく研究できるだろうな」という直感です。

—ご自身の関心や研究テーマについて教えてください。

私の研究テーマは、英語の授業の中で体験したフロー状態（時間があっという間に過ぎた！と感じるような楽しい没頭体験）についてです。このテーマに関心を持ったのは、英語の授業をもっと楽しく、やる気を持って取り組めるようなものにしたとずっと思っていたからです。自分自身、英語の授業を楽しいと感じたことはほとんどなく、また、英語の授業が嫌いでも英語を習得できないといった同級生もたくさん見てきました。この現状を変えるために、まずは楽しい授業づくりが必要なのではないかと思うようになりましたが、その時は楽しい授業の要因・条件について何も分かりませんでした。

その後、大学3年生の時に、当時の指導教員の先生にフローという楽しい没頭体験についてのテーマを教えてくださいました。そして、フローに関する様々な文献を読んでいくうちに、フローの虜になっていました。そこから私の英語の授業におけるフロー状態への研究が始まり、現在にも続いています。